

第36回 個別医療における認定再生委員会等委員会議事録

開催日時：令和2年12月9日（水）16：00～16：30

場所：医療法人社団博心厚生会東京キャンサークリニック9階

及び各自所在地をWebで結んでのZoom会議

参加者：【委員】 笹田亜麻子 （区分a-1、（設置者と利害関係あり））

水上 治 （区分a-1）

長谷川記子 （区分a-2）

石井麦生 （区分b）

小玉大介 （区分c）

計5名

【オブザーバー】 阿部博幸 （委員会発起人）

阿部みな子 （区分a-1、進行役として参加
（設置者と利害関係あり）

山田江津子 （事務局）

吉田真美 （行政書士）

計4名

議事録作成者：吉田真美

定刻になり、委員・オブザーバー全員と回線がつながっていることを確認し、委員会成立要件（1.5名以上の出席 2.男女各1名以上の出席 3.①再生医療等について、十分な科学的知見及び医療上の知識を有する者を含む医学又は医療の専門家②法律の専門家③一般の立場の者の全ての領域が出席 4.委員のうち審査対象医療機関と利害関係を有さない委員が過半数である、5.認定委員設置者と利害関係の無い委員2名以上の出席）が満たされていることを確認した上で、委員会発起人である阿部博幸より簡単な挨拶と開会が宣された。

第一号議案 定期報告に関する審査

議長から 1. 医療法人社団 茉悠乃会 船橋ゆーかりクリニック（千葉県船橋市本町5-3-5 伊藤 LK ビル4階） 2. 医療法人社団 英昭会 長峰整形外科（東京都新宿区百人町1-11-3 ロイヤル大久保1F） 3. 池袋腫瘍内科クリニック（東京都豊島区池袋2-48-9 恩京アムール3階） 4. 医療法人 昭生病院（兵庫県神戸市灘区鶴甲3-13-19）の4院が定期報告期限を迎えるため、実績に基づき継続可否の審議を行う旨説明があった。

各院の再生医療提供実績表に基づき、状況の報告がなされた。

1. 医療法人社団 茉悠乃会 船橋ゆーかりクリニック

症例数（投与数）：NK0 例（0 回）、NKT（MIX）0 例（0 回）、樹状 0 例（0 回）。
今後も継続希望あり。

2. 医療法人社団 英昭会 長峰整形外科

症例数（投与数）：NK0 例（0 回）。
今後も継続希望有。

3. 池袋腫瘍内科クリニック

症例数（投与数）：NK9 例（28 回）、NKT（MIX）0 例（0 回）、樹状 0 例（0 回）。
1 クール終了（評価対象）1 例

4. 医療法人 昭生病院

症例数（投与数）：NK5 例（13 回）、NKT（MIX）0 例（0 回）、樹状 5 例（9 回）。
1 クール終了（評価対象）1 例

上記を受け、質疑応答に入った。

①②の症例及び実施数が 0 の院については、特段質疑等無し。

③については、バイオマーカー、画像診断及び QOL 評価によって、部分奏功がみられていること、また④については、画像診断及び QOL 評価によって転移巣の縮小及び消失が見られ、部分奏功と評価して問題ない旨の補足説明があった。

その他は特に質疑が無く決議に入った。

各院に対する採決を行い、1. 2. 3. 4. の全ての院への現在の提供状況、及び今後の提供継続希望のある院に対しての提供を、参加委員一同異議なく挙手により承認した。

以上をもって本日の議事を終了したが、委員より以下の質問が発せられ、状況の説明が行われた。

1. 委員会規程第 9 条にある、審査業務等の過程に関する記録作成及び公表は現状どうなっているのか？

→過程に関する記録作成は、毎回必ず録音を基に作成している。またその議事録は、委員会ホームページ上において公表している。

2. 定期報告等で集めた症例の結果等は、どこかで集約し、データ化しているのか？

→厚労省においては（当委員会が関わっている提供計画が「治療」であることもあり）特段データ

の集約等が行っていないのではないかと思うが、個々の事例について事故発生等が無く安全に運用しているかを見ているものと思う。

しかしながら、当委員会においてもデータを今後集約し、治療に活かしてゆけるように整えたいと考え、準備を進めてはいる。

質問者の納得をもって質疑は終了し、委員会発起人 阿部博幸は閉会を宣した。

以上

(16時25分)